

## 議決権行使レポート

証券コード 4046

会社名 大阪ソーダ

	賛成	反対	棄権
第1号議案 取締役選任（6名）			
寺田 健志 氏	○		
小西 淳夫 氏	○		
木村 武司 氏	○		
二村 文友 氏	○		
百嶋 計 氏	○		
宮田 興子 氏	○		
第2号議案 買収防衛策継続について	○		

### 上記の推奨をした理由

#### 【第1号議案 取締役選任（6名）】

大阪ソーダは経常利益・営業利益は2期連続で増加傾向にあり、ROEは2022年期から2023年期でやや低下し収益性は悪化しているものの依然10%を上回っており切迫した問題ではないと言える。

#### ■寺田 健志 氏・小西 淳夫 氏・二村 文友 氏・百嶋 計 氏・宮田 興子 氏

これら5名の候補者はいずれも再任であり、上記の大阪ソーダの業績を考慮するとこれらの候補者が引き続き取締役を務めることに関して賛成する。寺田氏は当社の諸役職を務めたのちに、海外駐在の経験を経て2017年に代表取締役社長に就任後、当社を牽引し続けている。また小西氏は当社グループ会社社長などを歴任していることから、寺田氏・小西氏ともに会社の収益改善を推進することが期待される。二村氏・百嶋氏・宮田氏はいずれも社外取締役候補者であり、二村氏・百嶋氏は当社に加え同業者の社外取締役の経験を持つ。宮田氏は当社の社外取締役の経験に加え薬学において豊富な経験を持ち、当社のヘルスケア業の発展において重要な役割を果たすことが期待できる。3名とも社外取締役として、社外の人材ならではの視点を持って企業価値向上に貢献できることが期待される。

#### ■木村 武司 氏

木村氏は新任の候補者である。国内外で化学会社の経営者として豊富な経験を持ち、2021年から当社の役職も務めている。当社のグローバル化の観点などから考えても、木村氏は当社の企業価値向上に重要な役割を果たす人材であると考えられる。

## 【第2号議案 買収防衛策継続について】

当社の買収防衛策は事前警告型買収防止策であるが、取締役会は半数を社外取締役が占めており出席取締役全員の賛成を踏まえてこの議案は決議され、株主総会での株主の承認を議案通過の条件としている。また当プラン継続の必要性として、当社の研究開発型の化学会社という特徴を踏まえた上で、株主が短期間で当社の研究成果やノウハウの事業化の可能性を分析し当社の内在的価値を評価するのは容易ではないと主張し、大規模買付行為等が行われようとする場合は、取締役会を通じて株主に大規模買付行為に関する情報を当社が提供する必要があると述べ、このプランの必要性を論理的に実証しているため、この議案に賛成する。

以上